

交渉速報 (要旨) 申25号「2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ」③

9. 分割・併合の技術保持に対する考え方を明らかにすること。

●会社回答：必要な教育については、行っていく考えである。

組合→分・併作業は減ってきていると思う。作業を残す考えはあるのか？

会社→異常時での対応もある。作業ができないということは無いようにしたい。運用ありきでは無いが努力はしているところである。

組合→車掌においても異常時で急遽、ホロ・サン板の取扱いが発生した。車掌への教育はどうか？

会社→2年ごとの訓練センターで実施している。

組合→そこで全員が取扱う訳ではない。職場での教育も必要である。

会社→検討して勉強していく。

10. 新規養成の乗務時間の短縮に伴い交番日数を見直すこと。

●会社回答：乗務行路については、乗務割交番作成規程に基づき作成しているところである。

組合→新規養成の時間が全体で減っている。29日交番であると月1回しか乗務しない。

会社→新潟運輸区が養成区になっての要請であった。大人数の養成年もあつた。指導担当とキャッチボールをしている。

組合→1つの組で養成できるようにして欲しい。教導員など現場社員の声を聞いて欲しい。

11. 分割親行路及び、土休日運休となる列車により運用が変わる行路を動力車操縦者運転免許取得のための新規養成の交番組に入れないこと。

●会社回答：新規養成に必要な乗務時間を確保し、乗務割交番を作成しているところである。

組合→7項と同様に見習いによっては乗務時間に差が出てしまう。

会社→行路作成時、新規養成組であることは意識していたが、土休日運休については意識していなかった。

会社→意見を参考にして勉強していく。

12. 新潟駅の対面ホーム乗り換え接続時間を2分以上とすること。

●会社回答：新潟駅における乗り換え標準時分については、「ダイヤ改正に伴う新潟駅における乗り換え標準時分の一部変更について」に則り、設定しているところである。

組合→対面での乗り換え接続時間は？

会社→1分以上となる。

組合→トラックを踏んで列車が停止していないのに、対面列車の出発信号機が自動的に現示されるシステムとなっている。3374Mはほぼ手動で信号を扱っている。

会社→お客さまからの苦情は無い。関係社員に確認して勉強していきたい。

組合→実際の乗り換え時間となっていないのが現状である。